





# 2011平戸ザビエル祭



ザビエルがいつも手放さなかつた十字架を「宣教師魂」と説き、その心を「人をゆるす愛、人のために命を与える愛、人を生かすために自分を犠牲にする愛」と説いた。奉納では、ザビエルの愛と奉仕の精神を受け継ぐことができるようにとの願いを込めて、平戸地区の青年たちが生月の殉教地から運んできた赤い櫛が奉納され、祭壇のザビエル像に掛けられた。

11月27日、広島教区の前田万葉司教と平戸地区司祭団の共同司式により、ザビエル記念祭が行われ、広島教区の巡礼団をはじめ平戸地区内外から400人余が平戸ザビエル記念教会に集まった。「思い起こそうザビエルの熱き思いを」をテーマにささげられたミサの説教の中で、前田司教は、

ミサの終わりに、1981年に来日した教皇ヨハネ・パウロ2世の、長崎カトリックセンターでの離日メッセージの音声テープで流された。前教皇は、ザビエルが教えたキリスト教的愛と奉仕

の精神をいつまでも保つようと説かれ、参加者は聴き入っていた。ミサに続いて前田司教の司教叙階を祝う式もあり、平戸地区代表者らの祝辞、花束と記念品を贈呈し、喜びを共にした。

指導司祭大山繁師と共に長崎大司教館を訪れ、神学生の援助献金にと803万7924円を高見三明大司教に贈った。その後、連合婦人会の活動や現状について話題が及び、大司教と1時間ほど意見を交わした。

自死問題に取り組み「聖イグナチオいのちを守るプロジェクト」(東京は、「2009年のちを守る緊急アピール」(日本カトリック社会司教委員会ほか)を受けて、「自死と向き合う教会」として活動を始め、その一環として「自死された方々のために捧げる追悼ミサ」を一昨年から始めていた。昨年は死者の月である11月26日に、東京の麹町教会(聖イグナチオ教会)でミサが行われた。

これに合わせ、長崎でもこのような追悼ミサができればいいのではとCLC(クリスチャン・ライフ・コミュニティ、聖イグナチオ・ロヨラの霊性を生きたる信徒の団体)が主催し、11月25日長崎市西坂町の聖フィリッポ教会で約20人が参加し、自死された方々のためにミサをささげた。

「聖イグナチオいのちを守るプロジェクト」(東京は、「2009年のちを守る緊急アピール」(日本カトリック社会司教委員会ほか)を受けて、「自死と向き合う教会」として活動を始め、その一環として「自死された方々のために捧げる追悼ミサ」を一昨年から始めていた。昨年は死者の月である11月26日に、東京の麹町教会(聖イグナチオ教会)でミサが行われた。

「聖イグナチオいのちを守るプロジェクト」(東京は、「2009年のちを守る緊急アピール」(日本カトリック社会司教委員会ほか)を受けて、「自死と向き合う教会」として活動を始め、その一環として「自死された方々のために捧げる追悼ミサ」を一昨年から始めていた。昨年は死者の月である11月26日に、東京の麹町教会(聖イグナチオ教会)でミサが行われた。

「聖イグナチオいのちを守るプロジェクト」(東京は、「2009年のちを守る緊急アピール」(日本カトリック社会司教委員会ほか)を受けて、「自死と向き合う教会」として活動を始め、その一環として「自死された方々のために捧げる追悼ミサ」を一昨年から始めていた。昨年は死者の月である11月26日に、東京の麹町教会(聖イグナチオ教会)でミサが行われた。

「聖イグナチオいのちを守るプロジェクト」(東京は、「2009年のちを守る緊急アピール」(日本カトリック社会司教委員会ほか)を受けて、「自死と向き合う教会」として活動を始め、その一環として「自死された方々のために捧げる追悼ミサ」を一昨年から始めていた。昨年は死者の月である11月26日に、東京の麹町教会(聖イグナチオ教会)でミサが行われた。

「聖イグナチオいのちを守るプロジェクト」(東京は、「2009年のちを守る緊急アピール」(日本カトリック社会司教委員会ほか)を受けて、「自死と向き合う教会」として活動を始め、その一環として「自死された方々のために捧げる追悼ミサ」を一昨年から始めていた。昨年は死者の月である11月26日に、東京の麹町教会(聖イグナチオ教会)でミサが行われた。

## 主のご降誕おめでとうございます

**第20回 子ども聖歌の集い**  
2011年12月11日、第20回子ども聖歌の集いが浦上教会で行われ、参加した11教会の子どもたちが日頃の練習の成果を披露した。今回は中町、滑石、稲佐の3教会が表彰され、また特別賞として「大司教賞」が長与教会に授与された。応援団も含め楽しい時間を共に過ごした。

2011年12月6日から11日までの6日間、「探訪～四季を味わう上五島実行委員会」の主催で、チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。



「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

コンサートに先立ってミサがあり、説教の中でデ・ルカ・レンゾ神父は「結城神父さまは殉教者の話をすると、まるで殉教者と会ったかのように話されていた」と振り返り、参加者は共に神父を偲び、祈りをささげた。引き続き「日本フィル弦

## チャーチウィーク in 上五島 教会でコンサート

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。



チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

チャーチウィークコンサートが開催された。6つの教会がコンサートに協力し、12月7日は浜申教会を会場に一早いクリスマスの雰囲気を地域の人々と共に味わった。浜申教会では、参加者への感謝を込めて、教会の子どもたちが練習した歌を披露した。その後、若手演奏家たちが、はつらつとした演奏で聴衆を魅了した。参加者の中には、「どの会場にも足を運んでいます。それぞれ工夫を凝らした演奏プログラムとなっていて、楽しんでいます。浜申での演奏も素晴らしかった」と感想を述べた。

## 2011年度 日本カトリック難民移住移動者委員会 長崎教会管区セミナー

今回のセミナーは日本に滞在する外国人の方々にとって大変重要なセミナーです。今年7月に入国管理法が改定され、新しく外国人住民票制度が制定されます。住民サービスをより受けやすいと謳われている半面、手続きが遅れてしまうと在留許可取り消しなど、かなり厳しい罰則が科せられています。できるだけ隣人の外国人の方々に声をかけていただいて、このセミナーに参加していただきたいと思ひます。

問い合わせ 難民移住移動者委員長崎教区代表 川口昭人

日時 2012年2月11日(土) 9:00受付、10:00開会、15:30閉会  
場所 熊本・マリスト学園 (熊本市健軍 2-11-54)  
テーマ To Live in Harmony with Faith and Social Responsibility 「信仰と社会的責任をもって、調和の中に生きる」

基調講演 佐藤信行氏 (在日韓国人問題研究所所長、外登法問題に 取り組む全国キリスト教連絡協議会事務局員) テーマ…「改定入管法問題」 —2012年から実施される改定入管法を検証する—

パネルディスカッション 佐藤信行氏 中島眞一郎氏 (行政書士、外国人と共に生きる会—KUMUSTAKA)

※長崎からの参加者は当日朝7:00に中町教会に集合・出発、貸し切りバスで会場へ向かう予定です。

お問い合わせ・参加申し込み (担当司祭) 川口昭人神父 神ノ島教会 TEL 095-865-1028

小値賀本島の東にある野首島には、1881年瀬戸協教会が、1882年には野首教会が建てられた。現在小値賀町の文化財として島に残されているれんが造りの野首教会は、1908年(明治41)、戸数わずか17戸の信徒たちによって、鉄川与助を棟梁として建てられたものである。



戦後、基幹産業であった石炭産業の盛況で人口が急増し、信者の従業者とその家族も増えたため、1958年(昭和33)、野首島に建てられた。西木場小教区の巡回教会として、洗礼者ヨハネに

大正末期から昭和初期にかけて福岡、下関、小崎地区に外海、五島、黒島などから10戸余りが移住したとされ、当初野首教会に約7kmの道程を歩いてミサにあずかっていたと聞

現在、戸数50世帯、例に漏れず少子高齢化は避けられない状態ですが、受け継いできた信仰というともしびを消すことなく皆で守り続けていきたいと思ひます。(福岡教会・桃田隆)



西木場小教区 御厨教会 人口急増で建立

戦後、基幹産業であった石炭産業の盛況で人口が急増し、信者の従業者とその家族も増えたため、1958年(昭和33)、野首島に建てられた。西木場小教区の巡回教会として、洗礼者ヨハネに



愛苦会(お告げのマリア修道会の前身)の保育園が現在教会のある場所に開設、63年(昭和38)併設する聖堂の祝別が行われ、日曜のミサ、子どもの稽古が行われるようになった。1956年(昭和31)西木場教会が小教区となり、組み入

## 巡回教会めぐり

仲知小教区 小値賀教会 ミサがささげられる

3カ月に一度、の過疎対策によって信徒全員が集団移住したため、71年(昭和46)には野首教会は閉鎖となった。現在の小値賀教会は野首教会の巡回教会として小値賀本島に建てられ

たもので、3代目主任司祭であった川上忠秋氏によると、司祭館と幼稚園が隣接していて、ミサは幼稚園の講堂で行われていたという。

松永司教によって祝別された

### 「歩くながさき巡礼」参加者を募集します

**【第1回】奈留島・久賀島コース 2012年2月25日(土)～26日(日)1泊2日**  
**集合** 2月25日(土) 9:20 福江港ターミナル1階  
**解散** 2月26日(日) 13:00 福江港ターミナル1階  
**1日目** 五島椿まつりの企画として実施される「奈留島海鮮グルメウォーク」に参加。宿泊地奈留島において島民との大交流会を予定しています。(江上教会～奈留教会)ウォーキング 約10km。  
**2日目** 奈留島より海上タクシーにて五輪港へ。(五輪教会～牟屋の窄殉教地～浜脇教会)ウォーキング 約10km。  
**参加費** 1泊2日 6,000円、日帰り 3,000円(奈留島のみ)。  
 ※長崎からの参加者の、長崎⇄福江往復旅費は自己負担となります。

**【第2回】黒島コース 2012年3月4日(日)日帰り**  
**集合** 7:30 浦上駅 **解散** 18:00 浦上駅  
 佐世保港沖、黒島天主堂を訪れます。(興善寺～長崎鼻断崖絶壁見学～昼食・民宿～カトリック共同墓地・マルマン神父の墓～黒島教会～信仰復活の地)ウォーキング 約10km。  
**参加費** 3,000円  
 ※長崎⇄相ノ浦 往復バス代、相ノ浦⇄黒島港 往復船賃、昼食代込み。

**【第3回】大村コース 2012年3月20日(火・春分の日)日帰り**  
**集合** 8:30 浦上駅 **解散** 17:00 浦上駅  
 大村純忠の一生、郡くずれなど、長崎のカトリックの原点を訪れます。(玖島城址～武家屋敷～三城城址～大村純忠史跡公園～植松教会～胴塚～首塚～放虎原殉教地～獄門所跡～妻子別れの石～本経寺)ウォーキング 約12km。  
**参加費** 無料(昼食は自己負担)  
 ※長崎⇄大村 交通費は主催者負担。

**主催・申し込み先**  
 NPO法人長崎巡礼センター 〒852-8114 長崎市橋口町8-8  
 TEL 095-842-2393 FAX 095-865-8191  
 電話またはファックスにてお申し込みください。  
**申し込み締切** 2012年2月15日 ※参加者多数の場合は事前に締め切ります。  
**参加資格** 健康な方で、自己管理ができる方はどなたも参加できます。

**親睦 ミニバレーボール大会**  
 長崎南地区連合婦人会



長崎南地区連合婦人会主催の第1回親睦ミニバレーボール大会が11月27日、聖母の騎士体育館(長崎市本河内)で開かれた。10チームがA・Bバレーに分かれてリンクリグ戦を行い、練習を重ねたチーム、ぶっつけ本番のチームとさまざまであつたが、試合が進むにつれ全力で臨み熱戦を繰り広げた。各教会の応援にも熱が入り、子どもたちの掛け声や点を取ったり取られたりするたびの「喜一憂」の盛り上がりがあった。各バレーの1、2位で決勝、3位決定戦を行い、結果は次の通り。優勝 愛宕 準優勝 馬込・大明寺、3位 木鉢。最後に司祭団との交流試合もあり、選手や応援団ら約250人が親睦を深めた。

「だから、こう祈りなさい。天におられるわたしたちの父よ、わたしたちに必要な糧を今日与えてください。わたしたちの負い目を赦してください。わたしは自分自身に負い目のある人を赦しましたように。わたしは悪人を誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちを赦しなさい。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

**英語でチャレンジ 国際人へゴー**  
 精道の英語教育の実り  
 「創立当初から国際教育に力を入れている」長崎精道小・中学校(長崎市三原)。昨年10月、読売新聞社主催の「高円宮杯第63回全日本中学校英語弁論大会長崎県大会」に精道中学3年の西原梨沙さんが出場した。西原さんは、「世界は一つになれる」と題し、東日本大震災を機に示された互いの思いやりや、国境を越えて皆の心が一つになる素晴らしさについてスピーチし、見事優勝。また大会当日は精道の中学校

「だから、こう祈りなさい。天におられるわたしたちの父よ、わたしたちに必要な糧を今日与えてください。わたしたちの負い目を赦してください。わたしは自分自身に負い目のある人を赦しましたように。わたしは悪人を誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちを赦しなさい。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

新年を迎えました。新年なのですから、昨年までのことはもう終わりにしなければなりません。神さまご自身が終わりにして下さったのですから、私も改め、天を仰ぎ、天におられるわたしたちのお父さまに向かい、祈りながら、どうしても誰かに対して、心におわだかまりを持ちながら祈るとすれば、「もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

この日に合わせ、本会が呼び掛けた「小教区広報担当者集い」も同センターで開催(写真)され、21小教区から35人余の担当者が参加した。集いでは広報委員会から「教会の広報活動に関するアンケート」集計結果の報告や教区ホームページに関する連絡があり、またグループに分かれて、教会で広報活動をしていく上での取り組みや悩みなど意見を交わし、まとめの発表などもあった。

「現場から、共に生きた命の輝きを収拾する。21世紀の、ただ一つの希望として。民衆が黙つても、石が叫ぶ(ルカ福音書)。著者はイエズス会士で、現在、下関労働教育センターを拠点として活動。カトリックの「社会教説」を弘布・実践するとともに、労働者運動に積極的に参画し、東ティモール独立運動にも深く関わる。常に現場に身を置くこと、そして歴史の重荷と社会の歪みを負って生きようとする人々と共にあつて、そこから希望を「学ぶ」という一貫した姿勢を持つ。岩波書店、2625円。

**ワールドユースデー(WYD)**  
 青年たちが報告会開催



12月3日19時半から俵町教会で行われた中高生・青年のためのワールドユースデー(WYD)「マドリッド大会」の報告会が開催された。スペインのビーゴからサンティアゴまで、約100キロの道のりを徒歩で歩いたこと、世界中に広がるキリスト信仰者の交流、何よりもパバさまのごミサ、そして雷雨の一夜など、若者にしかできない貴重な経験に聴き入った。

「だから、こう祈りなさい。天におられるわたしたちの父よ、わたしたちに必要な糧を今日与えてください。わたしたちの負い目を赦してください。わたしは自分自身に負い目のある人を赦しましたように。わたしは悪人を誘惑に遭わせず、悪い者から救ってください。もし人の過ちを赦すなら、あなたがたの天の父もあなたがたの過ちを赦しなさい。しかし、もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

新年を迎えました。新年なのですから、昨年までのことはもう終わりにしなければなりません。神さまご自身が終わりにして下さったのですから、私も改め、天を仰ぎ、天におられるわたしたちのお父さまに向かい、祈りながら、どうしても誰かに対して、心におわだかまりを持ちながら祈るとすれば、「もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

**みことばにふれて** 81  
 岩崎康彦神父 (今村教会)



カット：江口夏那美さん (曾根教会、中1)

「わたしは自分自身に負い目のある人を赦しましたように」といふこのくだり。本日は赦してもいいのに、「赦しましたように」などと、どうして祈れましょう。この赦しは、「赦免」の赦し、無条件の赦し、過去の一切を問わない赦し。もしも誰かに対して、心におわだかまりを持ちながら祈るとすれば、「もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

「わたしは自分自身に負い目のある人を赦しましたように」といふこのくだり。本日は赦してもいいのに、「赦しましたように」などと、どうして祈れましょう。この赦しは、「赦免」の赦し、無条件の赦し、過去の一切を問わない赦し。もしも誰かに対して、心におわだかまりを持ちながら祈るとすれば、「もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

「わたしは自分自身に負い目のある人を赦しましたように」といふこのくだり。本日は赦してもいいのに、「赦しましたように」などと、どうして祈れましょう。この赦しは、「赦免」の赦し、無条件の赦し、過去の一切を問わない赦し。もしも誰かに対して、心におわだかまりを持ちながら祈るとすれば、「もし人を赦さないなら、あなたがたの父もあなたがたの過ちを赦しなさい。」(マタイ6章9節、11～15節)。

**高円宮杯で活躍した4人**  
 生3人も、英語で司会進行役を務めた。



11月には長崎新聞社と南日本カルチャー主催の「中学生英語暗唱大会」が行われ、中学2年生の星野光美さんが最優秀賞(1位)、東晴日さんが努力賞(4位相当)を受賞した。

**新刊良書**  
 ★石が叫ぶ福音 — 喪失と汚染の大地から — 林尚志著  
 震災と原発事故が開いた、この時代と現実の裂け目。心の内部破壊から再び立ち上がる力を求めて、前世紀後半の生活を

**カトリックセンターで開催 映画上映会と小教区広報担当者の集い**  
 11月23日、SIGNIS JAPAN(カトリックメディア協議会)が選定した第35回日本カトリック映画賞受賞作品「月あかりの下で」がある定時制高校の記憶」がカトリックセンターホールで上映され、約150人が感動を分かち合った。

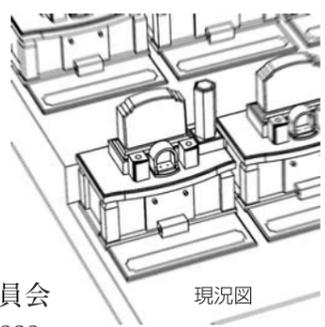
この日に合わせ、本会が呼び掛けた「小教区広報担当者集い」も同センターで開催(写真)され、21小教区から35人余の担当者が参加した。集いでは広報委員会から「教会の広報活動に関するアンケート」集計結果の報告や教区ホームページに関する連絡があり、またグループに分かれて、教会で広報活動をしていく上での取り組みや悩みなど意見を交わし、まとめの発表などもあった。

**A Happy New Year!**  
**材石治明**  
 長崎本店 長崎市城栄町13-1 電話 (095) 846-3598  
 大村店 大村市民霊園内 電話 (0957) 50-3008

ハマチ・タイ養殖、アジ・イワシ加工、中型旋削

**エテルナ・ワコー(株)**  
 代表取締役 ミカエル 溝口美義  
 〒858-0926 佐世保市大湊町586  
 TEL(0956)47-4380

**飽の浦教会 墓地分譲**  
 場所：長崎市大谷町 262-1 ガーデンテラス長崎ホテル隣接  
 眼下に長崎の港と街並みを見渡す明るい丘  
**総額160万円** 墓碑、納骨室(総御影石)、彫刻費など含みます。  
 ●永代使用权付き墓地 ●占有面積は 間口 1.6m 奥行 1.5m  
 ●墓地内祭壇(約40㎡)で年2回合同追悼ミサをささげます。  
**即納骨可** お問い合わせ先：カトリック飽の浦教会墓地管理委員会  
 島田義美 TEL 095-861-0982 携帯 090-5948-8838



現況図

**(有)長崎大理石工業** 社長 三ハネ 濱本直行  
**TEL 095-839-0374**  
 本社 長崎市つづじが丘 5-1-15 加工工場 諫早中核工業団地

**祝・第二期(99基)工事完成**